

# 糖尿病領域WEBセミナー in 北陸

日程：2021年1月29日(金)

時間：18時30分～19時50分

参加場所：オンラインWEB参加

※事前参加申込方法の詳細は「裏面」をご覧ください

事前参加登録制



事前参加登録QRコード  
1月22日(金)メ

『QRコード』は  
(株)デンソーウェブの登録商標です

【座長】

篁 俊成 先生

金沢大学大学院医学系研究科  
内分泌・代謝内科学分野 教授

講演

18:30～19:10(40分)

「糖尿病薬物療法の効果を高める

食事・運動療法：脳科学の視点」

【演者】

益崎 裕章 先生

琉球大学大学院医学研究科

内分泌代謝・血液・膠原病内科講座(第二内科) 教授

講演

2

19:10～19:50(40分)

「Metabolic Information Highways」

～臓器間ネットワークによる個体レベルの代謝調節～

【演者】

片桐 秀樹 先生

東北大学大学院医学系研究科

糖尿病代謝内科学分野 教授

主催

大日本住友製薬株式会社

## 【特別講演①】

# 「糖尿病薬物療法の効果を高める 食事・運動療法：脳科学の視点」

人生100年時代の到来が現実味を帯びる中、100年間にわたって長持ちする脳や骨格筋、膵臓、肝臓、腎臓、脂肪組織を視野に入れた予防や未病、先制医療の在り方が今、真剣に問われています。“超・超高齢社会”に突入した日本における高齢世代の3大疾病、2型糖尿病、がん、認知症の発症・進展には生活習慣の乱れが一定の割合で関与します。しかし、健康に良くない生活習慣を改善し、実効性を伴う行動変容を成功させることは容易でなく、現時点では生活習慣を改善することに直接的に貢献する医薬は一切、存在しません。このような背景を踏まえ、私達は“身体に良くないと判っていてもなぜ、ヒトは過食に陥り、運動嫌いになってしまうのか？”という脳内分子メカニズムの解明に取り組んでいます。その結果、動物性脂肪の過剰な習慣的摂取が視床下部（小胞体ストレス）や脳内報酬系（エピゲノム）の機能を攪乱し、自身が必要とする以上のカロリーを摂り過ぎてしまうメカニズムや僅かな体重増加に伴って俄然、身体を動かす意欲が失せてしまうという驚くべき仕組みが明らかになってきました。ハッキングされた脳の機能異常はアルコールやタバコ、さらにはゲーム・ギャンブルに対する依存的嗜好や認知機能の低下とも深く関係することがわかってきました。一方、食や運動を賢く選択すればハイジャックされた脳機能を取り戻し、再び、自在に操ることが出来る可能性も見えてきました。本講演では糖尿病薬物療法の効果を高める食事・運動療法について、特に脳科学の視点から考えてみたいと思います。

演者

## 益崎 裕章 先生

琉球大学大学院医学研究科  
内分泌代謝・血液・膠原病内科講座（第二内科） 教授



### 【ご略歴】

京都市 生まれ、大阪府立 天王寺高等学校 卒業

- 1989年3月 : 京都大学 医学部 卒業
- 1996年3月 : 京都大学 大学院 医学研究科 博士課程修了、医学博士（分子医学専攻）
- 1999年10月 : 京都大学 医学部 第二内科 助手
- 2000年4月 : ハーバード大学 医学部 招聘博士研究員・客員助教授（Co: 医学部長Jeffrey Flier教授）
- 2008年7月 : 京都大学 内分泌代謝内科（旧 第二内科）講師
- 2009年10月 : 琉球大学 大学院 医学研究科 内分泌代謝・血液・膠原病 内科学講座（第二内科）教授
- 2014年1月 : 琉球大学 医学部 附属病院 副病院長・栄養管理部長
- 2015年4月 : 琉球大学 医学部 副医学部長
- 2016年10月 : 寄附講座『糖尿病とがん 病態解析学講座』教授 併任

### 【受賞】

- 木村記念循環器病財団 最優秀学術賞（平成9年）
- 日本臨床分子医学会 学術奨励賞（平成10年）
- 成人血管病研究振興財団 岡本記念研究奨励賞 最優秀賞（平成10年）
- 日本内分泌学会 研究奨励賞（平成13年）
- 日本肥満学会 肥満学会賞（平成14年）
- The Pfizer Scholars in Endocrinology Award in Recognition of Outstanding Achievement in the Advancement of Endocrinologic Science (USA)（平成15年）
- 日本心血管内分泌学会 高峰譲吉研究奨励賞（平成16年）
- 武田科学振興財団 特定研究賞（平成22年）
- 安藤スポーツ・食文化 振興財団 特別研究奨励賞（平成27年）

## 【特別講演②】

# 「Metabolic Information Highways」

## ～臓器間ネットワークによる個体レベルの代謝調節～

我々の体の各臓器・組織の代謝は、バラバラに行われているわけではなく、個体レベルでの恒常性を保つために、連携して調節されている。この臓器間の連携機構として、ホルモンなどの液性因子を介するものに加え、神経系による情報のやり取りの解明が進んできた。

特に肝臓は、門脈からの血流を直接受けるとともに、グリコーゲンや脂質を蓄積することができる臓器であり、短期的及び長期的な栄養状態の情報の発信源として重要な位置にある。実際、肝臓からの神経シグナルにより、エネルギー消費や熱代謝、脂質代謝、膵β細胞量が調節されていることが明らかとなっている。

しかし、環境の変化に応じて恒常性を守るはずのこの臓器連関システムは、往々にして飽食の現代では、血圧上昇・高中性脂肪血症・高インスリン血症といったメタボリックシンドローム諸病態の発症・進展にも関わることも明らかとなってきた。

本講演では、神経を介した代謝制御機構についての研究を紹介し、個体レベルでの代謝恒常性維持の仕組みの魅力やその治療応用戦略について議論したい。

演者

## 片桐 秀樹 先生

東北大学大学院医学系研究科  
糖尿病代謝内科学分野 教授



### 【ご略歴】

- 1987年3月 東京大学医学部医学科 卒業
- 1987年6月 東京大学医学部附属病院・東芝中央病院で研修
- 1989年6月 朝日生命成人病研究所附属丸の内病院勤務
- 1990年7月 東京大学医学部附属病院第三内科 医員
- 2001年9月 東北大学医学部附属病院糖尿病代謝科 医員・助手を経て
- 2003年1月 東北大学大学院医学系研究科 創生応用医学研究センター 教授
- 2013年4月 東北大学病院 糖尿病代謝科長（現在に至る）
- 2013年5月 東北大学大学院医学系研究科 糖尿病代謝内科学分野 教授（現在に至る）
- 2017年4月 東北大学大学院医学系研究科 副研究科長（現在に至る）
- 2020年4月 東北大学大学院医学系研究科 創生応用医学研究センター長（現在に至る）

- 2004年10月 東北大学21世紀COEプログラム サブリーダー
- 2010年12月 東北大学グローバルCOEプログラム サブリーダー
- 2012年 8月 JST(2015年からAMEDへ移管)CREST 研究代表
- 2017年10月 AMED 個体・臓器老化研究拠点 拠点長（現在に至る）
- 2020年12月 内閣府ムーンショット事業 プロジェクトマネージャー（現在に至る）

### 【受賞】

- 平成 6年度 日本内科学会研究奨励賞
- 平成18年度 日本学術振興会賞
- 平成19年度 日本糖尿病学会賞（リリー賞）
- 平成19年度 日本内分泌学会研究奨励賞
- 平成19年度 日本医師会医学研究奨励賞
- 平成26年度 文部科学大臣表彰 科学技術賞（研究部門）
- 令和2年度 日本糖尿病学会賞（ハーゲドーン賞）

# 事前参加申込のお願い

本研修会では、事前参加の登録をお願いしております。  
お手数お掛けしますが、下記の手順より参加登録をお願いします。

## ■ パソコンから申し込む場合

① 下記URLより、事前参加登録フォームへ

[https://que.ds-pharma.jp/form/pub/shiten\\_live/request0040ishikawa](https://que.ds-pharma.jp/form/pub/shiten_live/request0040ishikawa)

## ■ スマートフォン・タブレット端末から申し込む場合

① 下記QRコードより、事前参加登録フォームへ



『QRコード』は  
(株)デンソーウェブの  
登録商標です

② 事前参加登録フォームより、下記項目をご入力いただき【登録ボタン】をクリックしてください

●施設名 ●氏名 ●職種 ●メールアドレス

※ 登録いただきました個人情報は他の目的に使用すること、ならびに第三者に提供・開示することは一切ございません。

**【事前参加登録 申し込み締め切り】**  
**2021年1月22日(金)×**

## 当日オンラインでの参加方法

### 【事前確認】

事前参加登録いただいたメールアドレスに講演会前日までに招待メールを送付いたします。  
もし、招待メールが届いていない場合には、お手数ですが下記の問い合わせ先までご連絡ください。

### 【講演会当日】

- ・招待メールに記載のURLまたは、ID/パスワードからZoomに入室し、ご参加ください。
- ・Zoomのチャット機能より【ご芳名登録フォーム】を送信しますので、「施設名」「ご芳名」を入力ください。
- ・本会開始前より、ご芳名登録の入力作業についてご案内致しますのでお早めに入室ください。

※ スマートフォン・タブレット端末にて参加される場合は、事前に最新のZoomアプリをインストールしてください。

### 【問い合わせ先】

※ご不明な点がございましたら、下記までご連絡お願いいたします。

担当者：大日本住友製薬株式会社 木場 健太

TEL：080-5319-9147

E-mail：kenta-kiba@ds-pharma.co.jp